

- ☆ 生育状況は、昨年よりも5日程度進んでいる状況です。(静香(菅野中生) 南部収穫開始7/14頃～)
 また、曇天・多雨により、成熟がさらに進むことも予想されます。果肉鮮度重視で収穫を進めて下さい。
- ☆ 梅雨期の長雨により防除タイミングが難しい状況ですが、晴れ間を見計らい定期散布を前倒しで進めて下さい。
- ☆ 7月上中旬に、スモモヒメシンクイ第1世代の発生ピークを迎えました。今後、梅雨明け～9月までは、気温の上昇とともにシンクイムシ類の発生が増加しますので、引き続き、10日間隔の防除を徹底して下さい。

7/8 スモモヒメシンクイ発生状況(フェロモントラップ調査)

* ()内、前回 7/1 調査数

上今井 - 15 頭↑(5) 草間 - 32 頭↑(20) 一本木 - 16 頭↓(20) 倭 - 114 頭↑(77)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

1. プラム 薬剤散布 第13回

・散布時期： 8月1日～10日頃 (第12回目の薬剤散布から約10日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日 8月 日
 ・散布量 ℓ

展着剤(まくぴか) 20ml
 フェニックスフロアブル 25ml (前日、2回)
 劇イカズチWDG 66g (前日、2回)

・対象病害虫：シンクイムシ類、ケムシ類、ハマキムシ類

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

・注意事項

- 秋姫など黒斑病(かいよう病)の発生がある場合は、バリダシン液剤5の500倍(14日前、4回)または、スターナ水和剤の1000倍(7日前、3回)を加用する。

2. ブルーン 薬剤散布 (第9回)

・散布時期： 7月29日～8月4日 (第8回目の防除から約10日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日 月 日
 ・散布量 ℓ

フリントフロアブル25 50ml (前日、2回)
 劇バリアード顆粒水和剤 50g (前日、2回)

・対象病害虫：灰星病(すす点病)、アブラムシ類、(シンクイムシ類)

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

・注意事項

- 展着剤を使用する場合は、「まくぴか」の5,000倍を使用する。
- ハダニ類 発生園は、カネマイトフロアブルの1000倍(3日前、1回)を加用する。

資材課からのお知らせ

・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください。

・予約農薬・果実袋等を返品される場合は、早めの持ち込みをお願いします。

(次回特報 発行予定8/4 プラム：第14～15回 ブルーン：第10～11回)